一年間の活動を終えて　～地区委員の声～

２０１９年度の貝取・豊ヶ丘地区のさまざまな行事に参加・協力していただきありがとうございました。今年度の青少協地区委員から１年間の活動を通しての感想を寄せてもらいました。

●多摩貝取地区に住み14年。参加した事のないイベントに参加させてもらい、感動の嵐でした。役員が終わっても地域の方々との交流や、イベントの参加をしていきたいと思いました。1年間有難うございました。●委員になった当初は右も左も分からず手探りでやっていました。反省点は多くありますが行事を通していろいろな人と交流を持てたことは良かったと思います。1年間ありがとうございました。●自然豊かな多摩市の環境を上手く取り入れた行事などもあり、益々この多摩の町を好きになるきっかけをもらえた気がします。青少協の行事を参加することで子供達や地域の方々も同じ気持ちになって頂けたら嬉しいです。●青少協の役員は初めてで、分からないことばかりでした。なんとか無事に終えることが出来ましたのは、先生方や保護者の皆様、役員の皆様のお力添えのおかげです。1年間本当にありがとうございました。●青少協の行事を通して多くの事を地域の方々の繋がりで支えられていることや多摩の伝統を知ることが出来ました。他の役員の方々に助けていただきながら楽しい活動が出来ました。１年間ありがとうございました。●１年間、青少協として出来るか不安でしたが、皆さんに助けて頂きながら出来たので、良かったです。青少協は地域に密着した役員だなと思いました。一年間ありがとうございました。●青少協の行事に参加させていただいて様々な方と交流でき、とても実りある1年となりました。これからも地域の方々との繋がりを大切にしていきたいと思います。来年の行事も楽しみです。1年間ありがとうございました。●役員となり、青少協の定例会に出席させて頂きました。地域の方や先生方のお話が聞けて、とても勉強になりました。また。ニュースポーツ大会、ウォークラリー歩こう会と子供と参加でき楽しい思い出となりました。1年間ありがとうございました。●青少協での様々な行事に参加させて頂く中で、たくさんの方たちと協力しふれあいながら充実した1年を過ごせました。ニュースポーツ大会、工作の日、多摩そば作りなど今後も参加させて頂きたいと思います。ありがとうございました。●青少協の活動に参加し、地域ではこんなにたくさんの楽しい行事があることを知り、また、その一つひとつが沢山の方の力で支えられていることも分かり勉強になりました。1年間ありがとうございました。●今回初めて青少協の担当をさせて頂き、子供達が地域の色んな方々に支えられている事がわかり感謝の気持ちでいっぱいです。また、地域の行事などに参加させてもらい自分自身も勉強になりました。1年間ありがとうございました。●初めて青少協の担当をさせて頂き、地域の色んなイベントがあり、子ども達もいろいろ参加できるのにあまり参加して来なかったのが残念だったと思いました。自分自身も地域活動への貢献が出来たことに感謝いたします。１年間ありがとうございました。●青少協の役員となりいろいろな行事に参加させて頂きました。ウォークラリーなど楽しい行事にもっと地域の方々が参加して頂けたらと思いました。これからもいろんな行事に参加したいと思います。1年間ありがとうございました。●娘がお世話になっている青陵中で、親の私も親同士の繋がりをもちたいと思い、青少協の委員になりました。各地区の行事への運営や参加、地区委員名簿作成、定例会のレジュメ作成、議事録作成等、ちょっと大変なところもありますが、いろいろな方と知り合いになれたり、各地区の行事も経験できたのはよかったです。●あっという間に一年が経ちました。青少協の集まりやイベントに参加してみて、このような形で、日々、地域の子供達が見守られている事を知ることができました。一年間お世話になり、ありがとうございました。●青少協役員として1年間、地域の様々な活動に参加できたことはとても良い経験となりました。

❑ 編集後記（広報担当）

本年度もバルコニー橋をご愛読いただきましてありがとうございました。発行にあたっては、たくさんの方に原稿を提供していただき、深く感謝しております。皆様のご期待に十分にお答えできる内容として編集できたか自信はありませんが、広報担当者一丸となり発行に向けて活動してまいりました。今後とも青少協の活動およびバルコニー橋をよろしくお願いいたします。一年間ありがとうございました。

No.10　貝取・豊ヶ丘青少協地区委員会だより

バルコニー橋

2020年3月1日　　２０２０年春号

発行責任者
豊ヶ丘地区委員会会長　武内喜則
豊ヶ丘2-6-5-502　TEL：042-376-9126
Email：ssk-toyogaoka@mist.dti.ne.jp
URL:http://www.venus.dti.ne.jp/~basara/EX/ssk/
貝取地区委員会会長　斉藤幸枝

STP　ー商店街をちょっと楽しく元気にするプロジェクトー

今年も青陵中学校の１年生がSTP活動を貝取・豊ヶ丘商店街で行いました。

10年前の商店街の写真がありました。その写真を生徒たちと見たとき、10年前は今よりも商店街が明るいことに驚きました。大型のスーパーやショッピングモールなど便利なお店が身近にある今日この頃、商店街の良さはどこにあるのだろうとふと思いました。それは人と人が密にふれあい、暖かさを感じられる場所なんだなと思いました。そんな商店街をどうやったら元気に明るく出来るか。最初は何のためにSTP活動をやるのかイメージできない生徒たちでしたが、多摩市内の他の商店街の調査やSDGsの他の取り組みを知っていく内に少しずつではありますが、どんなことをしたいかアイデアがたくさん出てきました。今回の活動は「自分たちがやらなくても、他の人がやってくれる。」「自分たちには関係ないからいいや。」ではなく、自分たちの住む多摩市をどのような街にしていきたいかを自分のことのように考え活動できる、そのことを大きな目標にしてきました。活発に意見が出る中、実際にやれることとやれないことがあるという現実の問題にぶつかりました。そこで生徒たちはどうするのかな？と見守っていました。すると生徒たちは大きなことが出来なくてもいい、小さなことでよいのでずっと継続できる活動に出来たらいい、そんな思いを持ちプロジェクトを企画し実行していきました。当日学年の明るい声と笑顔があふれる活動になりました。うまくいった点、改善した方がいいなと思う点いろいろ出てきましたが活動としては生徒たちの力をすべて出し切れた活動だったと思います。いろいろな方々に協力をしていただいたことに感謝しております。　　（青陵中の先生から）

STPをやって、商店街が明るくなり自分たちも楽しく活動することができたから、この活動をやってよかったと思いました。STPを終えて、こうしたらもっとよくなったのではないかという反省点・課題が多く出てきたので後輩たちにも伝え、来年ももしこの活動を続けるのであればもっとよい活動に出来ればいいと思います。プロジェクトを終えた後もずっと残るシャッターアートなどは商店街に明るさを残せてよかったです。

実際にこのプロジェクトを行って、仕事の大変さを知り、大変ではあるけれど達成感も大きかったのでやれるのであればもう一度やりたいと思います。そして働くことの大変さを知り、地域のことを知ることは大切なことだと感じました。　（参加した青陵中の生徒から）

毎年いろいろなイベントで、商店街を楽しく元気にしてくれる子供達ですが、今回も楽しい企画が盛りだくさんでした。商店街で足湯をやるなんてオモシロイと思ったし、シャッターアートも、前に立つと SNS 映えする様な絵柄になっていたりと、子供達の発想力と実行力には驚かされます。

毎回開催を楽しみにしているご近所の方も沢山いるので、今後も続けて欲しいと思っています。子供達の目線で、楽しく元気な商店街になれたらステキですからね。

（豊ヶ丘・貝取商店会　会長　小山　様）

地区委員会の活動報告

２０１９年度下期の青少協地区員会の活動報告を掲載いたします。報告には参加していただいた方々の感想も掲載させていただきました。ご協力ありがとうございました。

❑ ニュースポーツ大会　（貝取･豊ヶ丘地区委員会）

１０月６日（日）９時半～１２時、青陵中校庭で、ニュースポーツ大会を開催しました。受付が始まる9時、準備を進めるスタッフボランティアの上に弱い雨がぱらぱら。3年連続の体育館開催か！！ しかし天は見捨てず、開会式を始めるころには雨雲も去り、最後のプログラムまで 終了することができました。

競技参加者数は２１３人で、曇り空の下ではありましたが、たくさんの方々が、各競技を楽しみました。今年も多くのボランティアに支えられた大会となりました。青陵中の生徒ボランティア３１人、豊小と貝小の児童ボランティア２２人、大人のスタッフ、ボランティアは４９人でした。皆さん、ありがとうございました。

❑ どんど焼き（豊ヶ丘地区委員会）

爽やかに晴れ上がり、陽射しが暖かく降り注ぐ１月１１日、第３３回どんど焼きが、豊ヶ丘小学校校庭で催されました。

今年も、青陵中、豊ヶ丘小の子どもたちと大人とが協力して、大小２つのやぐらを組み上げました。小さなやぐらには、子どもたちが夢や目標を書いた短冊が下げられ、子どもたちによる点火のあとは、大きな炎を吹き上げて子どもたちの願いを天に届けました。

ボランティアの子どもたちは、早くは８時に集合し、篠竹取り、竹取、剪定枝の運搬、灰の穴掘り、地場野菜を使った豚汁・お汁粉・甘酒の調理、お飾りの分別、篠竹洗いと、どんど焼きの準備全てにわたって、大人と協力して大活躍の一日でした。準備に参加して頂いた保護者の皆様、地域の皆様、ありがとうございました。今年の豚汁、お汁粉は一層美味しかったとの声も聞こえ、鍋の前には、長蛇の列ができました。

❑ ウォークラリー（貝取地区委員会）

１１月３日、曇り空でしたが、貝取、豊ヶ丘地区コースで身近な紅葉や新たな発見を皆さん楽しんでいました。ゴールでは歩こう会の参加者の方々と一緒におにぎりや豚汁をいただきました。

「ウォークラリーではコマ地図を頼りにし、色んな道を歩きました。ウォークラリーは早くても遅くてもダメなので、時間を気にしながら歩きました。私は友達と妹と一緒に歩いたので、協力出来ました。地図を読み取るのは大変だったけど今まで通ったことのない道を通って多摩市のことをよく知る機会になりました。とても楽しかったです。」（青陵中　市川さん）

「今回のウォークラリーは、前回と違うルートで迷う人も多く、もう少しわかりやすくしてほしいと思いました。ですが、ゴール後の豚汁とおにぎりはとても美味しかったです。」（青陵中　笠井さん）

貝取･豊ヶ丘地区子供たちの活動

貝取・豊ヶ丘地区では青少協の活動以外にもさまざまな行事や活動が行われました。その中から、こぶし館祭りと豊ヶ丘児童館のお祭りでの活動を紹介します。

❑ こぶし館祭り（こぶし館）

１１月１０日、好天に恵まれ貝取小学校児童演技、青陵中自家製ジュース（青陵飲料水）販売、永山高校の吹奏楽、地域有志による出店等、地域皆笑顔いっぱいに今年もこぶし館祭りが開催されました。

「青陵中ボランティアでポン菓子売りに参加しました。昔味はご年配の方、キャラメル味は子どもに人気があり売り切れました。歩き売りと呼び込みの作業が大変でしたが、味見が出来たりと嬉しいこともあり楽しかったです。」（青陵中　池辺さん）

「こぶし館祭りではボランティアとして、お店を出店しました。主にコーヒーを配ったり青陵飲料水を作る手伝いをしました。コーヒーを売り歩く時の声掛けが大変だったけれど、買ってもらった時はとても嬉しかったです。」（青陵中　菊地さん）

❑ のびのび豊ヶ丘まつり（豊ヶ丘児童館）

令和最初の「のびのび豊ヶ丘まつり」が１１月３０日に開催されました。肌寒くもよく晴れて穏やかな天気の中、大勢の方に来ていただき盛大に行うことができました。

児童館は例年、小学生の子ども実行委員が行う出店を中心に祭りに参加していますが、今年は様々な世代が繋がれるようにとの想いから、民生委員さん、地域ボランティアさん、日ごろ児童館を利用される幼児の保護者の皆さんに声をかけ、出店していただきました。

前日まで看板やポスターを作ったり、試作や試食を行って準備をしてきた甲斐があり、どのお店も大きなトラブルなく、無事に閉店時間を迎えることができました。

遊びに来てくださった皆さま、ありがとうございました。

子どもたちを応援する活動

地域では、子どもたちを応援するさまざまな活動があります。頑張るおとうさんの活動からお知らせです。

❑ 豊小おやじの会の一年　（豊小おやじの会）

豊小おやじの会は、普段お子さんと過ごす時間が少ないお父さん方が、お子さんの学校生活に少しでも多く触れ、理解を深めていこうを活動テーマに、誰でも参加しやすいよう「やれるときに、やれる人が、やれることを」を活動のモットーとして２９年１月のどんど焼きの頃に発足しました。

１年間の主な活動内容は、学校作業（芝生の肥料まきや芝刈り、エアコンフィルター・扇風機の清掃）、ボランティア活動（地域清掃、学校林整備）、学校行事（運動会の片付け）、地域活動（どんど焼き）を行っています。３年目の今年は、近隣の小学校のおやじの会と横の繋がりを作り、情報交換などをして毎年恒例のおやじの会主催のイベント企画の案を頂きました。今回は親子参加型の食育「ペットボトルでピザをつくろう！」を行いました。

今後とも、豊小児童のお父さん方への参加を呼びかけ、有意義な活動を続けて参りますのでどうぞ、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い致します。